# C57BL/6NCrSIc



名称	C57BL/6NCrSlc
由来	1975年 東京大学医科学研究所
毛色	黒色(aa BB CC DD H2b)

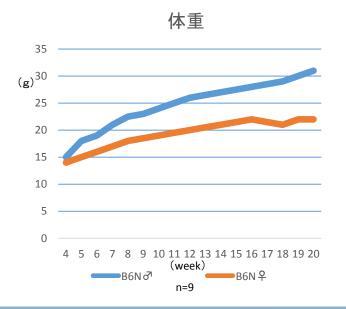
## 一般的な特徴

- ・自然発生腫瘍が少ない・脱毛が生じやすい・アルコール嗜好性が高い
- 新生児♂に小眼または無眼症が多い・低率で乳がん発症
- •N系は亜系統間のSNPの違いが認められておりません※1。
- ・J系はNnT遺伝子エクソン7~14が欠損※1しているとされています。(食事性肥満)
  - \*\*1Mekada K, Abe K et al. "Genetic Differences among C57BL/6 Substrains" *Exp Animals* 2009 58: 2: 141-149

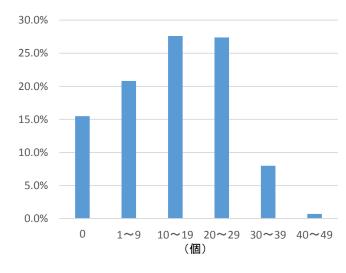
## 使用用途

・遺伝子改変動物等の作製をはじめ、加齢研究分野、がん免疫研究分野、 行動実験分野、糖尿病、肥満など様々な分野で使用されています。

### C57BL/6NCrSlcの特徴



### 過排卵処理における排卵数





## 採卵データ

C57BL/6NCrSlc×C57BL/6NCrSlc(♂:10週齢以上、♀:8週齢)					
交配数(A)	プラグ確認数(B)	受精卵数(C)	D	E	
927	415	6309	6.8	15.2	

PMSG 5IU/body投与48時間後にhCG 5IU/body投与

照明時間:7:00~19:00

\*交配数、プラグ確認数、採卵数は実施日の総数

D)交配数に対する1匹あたりの受精卵数(C/A)

E)プラグ確認数に対する1匹あたりの受精卵数(C/B)

## 繁殖データ

プラグ確認数= 249匹

不妊数=85匹

妊娠率=65.86%

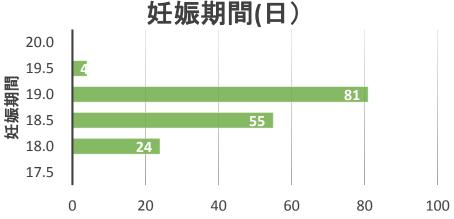
交配週齡=♂10w/♀10w

交配比率= ♂1:♀1

交配時刻=16:30

プラグ確認時刻 = 9:30

出産確認時刻=9:30/16:30



母体数

本データにおいては妊娠期間の 算定基準を下記例のように定めた

プラグ確認日を妊娠日齢0日とし、 (例)妊娠期間17.5日

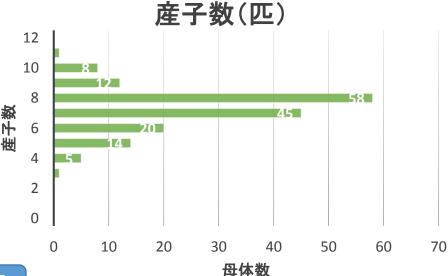
18日目の9:30に分娩確認できた時

(例) 妊娠期間18.0日

18日目の16:30に分娩確認できた時

(例) 妊娠期間18.5日

19日目の9:30に分娩確認できた時



## 生殖発生工学関連商品

#### 凍結卵・凍結胚(1個当たりの単価)

<u>/木が1917 /木が10工(「旧当たりの年間)</u>						
未受精卵	前核期受精卵	2細胞期胚	4-8細胞期胚			
300円	400円	450円	650円			

- \*輸送梱包費用は別途ご請求いたします。
- \*上記以外の凍結ステージをご希望の場合は、別途お見積りいたします。
- 妊娠動物は全ての妊娠日で対応可能です。(交配日、プラグ確認作業が土日になりますと割増価格となります)
- 高週齢・高月齢動物も対応可能です。

## HIGA/NscSlc (IgA腎症モデルマウス)



## 由来·特徵

- 1996年、高IgA血症をしめすddYの選抜交配によって確立 されたIgA腎症モデルマウスである。
- 2002年、日本新薬より導入される。
- ・血尿は見られないがヒトIgA腎症との類似性が多い。
- ・若週齢より血中IgA値が高い。
- ・約25週齢でより均一な血清IgAの優位な高値を示す。
- ・血清中IgA濃度は個体差がある。
- 未処置では早期発症が起こらない。

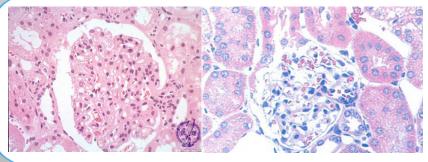
腎臓病は腎臓の糸球体や尿細管が侵されることで腎臓の働きが悪くなる病気。 大きく分類すると腎炎・ネフローゼ症候群・慢性腎不全等の内科で扱う病気と腎癌・腎結石を扱う 泌尿器科の病気に分けられる。

## 腎炎モデル動物

- •MRL/MpJJmsSlc-lpr/lpr (ループス腎炎) NZBWF1 (ループス腎炎)
- ・腎臓摘出動物(マウス・ラット) (慢性腎不全) HIGA/NscSlc (IgA腎症)

## IgA腎症とは

IgA腎症は世界でもっとも頻度の高い原発性糸球体腎炎で、特に日本をはじめとするアジア諸国に発 症が多くみられます。未治療のまま経過すると、約30-40%は末期腎不全に至る予後不良の疾患で あることがわかっています。



#### 糸球体(HE染色)

HIGA/NscSlc(2015年社内データより) (右画像)

ヒト糸球体※1 (左画像)

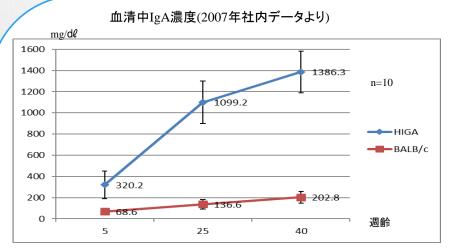


## IgA腎症の病因

異常なIgA(糖鎖異常IgA)が血液中に増加することがわかってきておりその異常な IgAにくっついてしまう抗体も増えてしまい、それらがかたまって(免疫複合体)となり それが腎臓にたまることで腎障害が進行しIgA腎症になる。

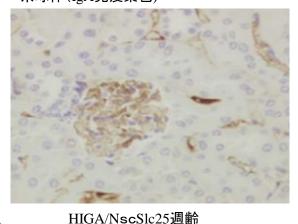


## HIGA/NscSlcの血中IgA濃度の推移と病理所見



若週齢から血清中IgA濃度が 高いがバラツキが大きい

糸球体(IgA免疫染色)



BALB/cCrSlc25週齡

HIGA/NscSlcには、IgAのメザンギウムへの沈着が確認できる。

※販売は原則雌のみで雄の販売致しておりません。

※コントロールはBALB/cCrSlcです。

※1 病理学会・病理コアより引用

http://pathology.or.jp/corepictures2010/12/c04/01.html



日本エス エル シー株式会社

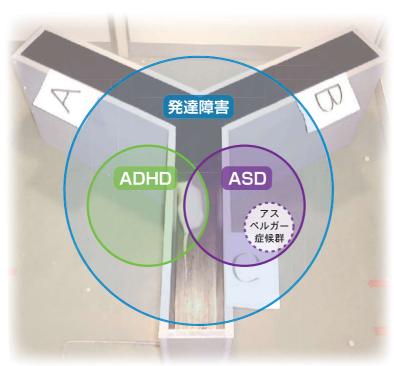
〒431-1103 静岡県浜松市西区送東町3371番地の8 TEL (053) 486-3178(代) FAX (053) 486-3156 http://www.jslc.co.jp/ 営業専用 T E L 関東エリア(053)486-3155(代) 関西エリア(053)486-3157(代) 九州エリア(0942)41-1656(代)

## ADHD としてのSHRSP/Ezo

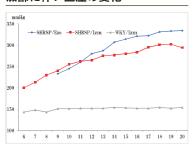
#### SHRSP/Ezo

学習記憶関連行動障害やコリン作動性神経系及びモノアミン作動性神経系を中心とした大脳皮質辺緑系の機能不全が発現する。これらの行動学的及び神経学的変化は、高血圧進展による2次的変化ではない。幼若期(生後6週齢)が示す行動薬理学的特徴は、注意欠如多動性障害症候と高い類以性を示す。即ち、Ezoは著明な自発運動の亢進(多動性)、更に衝動性を反映すると考えられる低不安状態に加えて、雄では不注意に基づく短期記憶障害を示す。尚、これらの注意欠如多動性障害に類以したEzoの行動異常は、注意欠如多動性障害の第一選択薬である塩酸メチルフェニデート<sup>12)</sup>により改善される。脳卒中を、発症し難い。

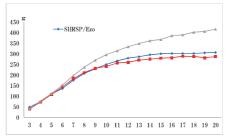




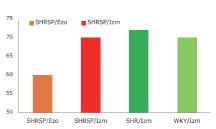
#### 加齢に伴い血圧の変化



#### 加齢に伴い体重の変化



不注意 (Y字迷路試験結果)





日本エス エル シー株式会社

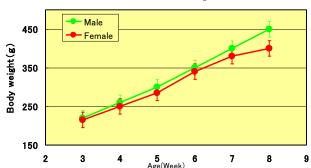
営業専用 T E L 関東エリア(053)486-3155(代) 関西エリア(053)486-3157(代) 九州エリア(0942)41-1656(代)

## - 有色モルモット

## Hos:Weiser-Maplesのご案内



## Hos:Weiser-Maplesの体重



由来:2010年に星野試験動物飼育所より導入

特徴:皮膚の研究に利用できる。背部皮膚がヒトの皮膚に近い 色調を示し、色素細胞(メラニンを作り出している細胞)が 多く分布し、その細胞の増殖がヒトの悪性黒色腫に類似し ている(参考文献1-3)。

結核菌に対する反応が均一で感染実験に利用可能 (参考文献4)。



Hos:Weiser-Maplesの背部皮膚

#### <参考文献>

1)Clark WH,et al.;Cancer Res.36:4079 2)Edelstein LM,et al.; Am. J. Med

Technol.39:373

3)Kligman LH, Elenitsas R; Melanoma Res.11:319

4) Jones LD, Weiser OL; Lab Anima. 3:69

営業専用

EL

Weiser-Maplesはメラニンを持っており皮膚の基礎 研究、経皮吸収型医薬品の研究開発等に利用可能

